

老齢動物の病気について(1)

今号からは本題の「認知症に対するサプリメント」についてお話しします。人間の認知症を専門とする医師が所属している認知症予防学会において、2022年までに認定（効果があると証明）されたサプリメントは「βラクトリン」「オキシカット」「フェルガード」だけです。その他にも独自の試験をして認知症の一つまたは複数の症状に対して効果を学会や専門誌に発表公開しているものも多数存在します。ここでは、そのような数々の成分や製品について、動物への可能性も含めて順にお話ししていきます。

1. 「βラクトリン」

βラクトリンはチーズや乳製品などの発酵食品に含

まれる成分で、約3カ月で記憶力改善など認知機能の改善が複数報告され認知症学会に認定された成分です。βラクトリンは動物においてどのくらいの量で効果があるかはまだ検証されていないようです。また、記憶力については動物では明確な効果がわかりづらいと思われます。

2. 「オキシカット」

オキシカットは製品名です。コエンザイムQ10や複数のビタミン、アミノ酸など多くの成分が配合された製品で岡山大学が製品の抗酸化作用により人の認知症スコアが3～6ヶ月で改善したことを報告し効果が認定されました。かなり多くの成分が含まれている

認知機能不全症候群⑧

「認知症の治療と予防(5)」



文・写真 中西章男
text & photo by Akio Nakanishi



ので、動物でそのバランスで有効かどうかは疑問の余地がありますし動物種による副作用も検証が必要です。

3. 「フェルガード」

フェルガードはフェルラ酸とガーデンアンセリカが成分の製品名です。人においてアミロイドβを抑制し認知機能を改善する効果が認定されました。フェルラ酸はマウスで抗酸化作用が、ガーデンアンセリカは神

経再生を促進する可能性が報告されています。

このフェルラ酸は米ぬかに多く含まれる成分で、玄米の他小麦や大麦など穀物の表層近くに存在し、また、コーヒー豆やピーナッツの薄皮にも含まれています。フェルラ酸は、動物用のサプリメントとして「ガードワン」という製品が市販されています。今回は「ガードワン」について、動物行動学専門医の報告にも触れご紹介したいと思います。



Profile

獣医師・獣医学博士。1959年生。1986年日本獣医畜産大学（現日本獣医生命科学大学）大学院博士課程卒。大学ではフィラリア症の血行動態、腫瘍および外科の免疫について研究。1987年東京都杉並区で「阿佐谷ペットクリニック」を開院。小動物の総合診療医として犬猫のみならずウサギ、小鳥、ハムスター、モルモットなど数々の動物を診療してきた。趣味：ゴルフ、モータースポーツ、機械いじり、動物たちとの戯れ。著書：『車イスに乗ったチロ』集英社